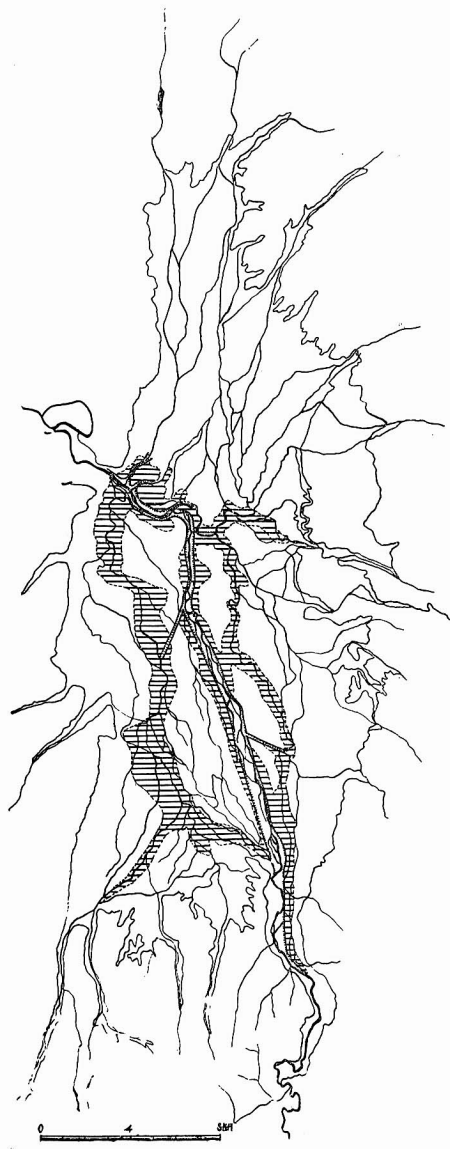


会津盆地洪水分布図
 昭和16年(1941)7月21~23日



坂下二となつてゐる。非住宅では玉路一二、本郷二〇、神指二三〇、勝常三一、金上四〇、広瀬四〇、堂島三、慶徳二、川西三、坂下二、若松五、町北五〇、高野七四、塩川一〇となり、流失三棟は玉路二、坂下一である。次に田畑の埋没では玉路七カ所一八、一九〇ヘクタール、門田一五カ所七、〇〇〇、川南一カ所二、三〇〇、館の内六カ所一五、〇〇〇、荒井二五カ所、神指一カ所三五〇、勝常二カ所四、〇〇〇、金上四カ所一〇、〇〇〇、広瀬五カ所一三、〇〇〇、堂島一カ所五、〇〇〇、坂下一カ所二、〇〇〇、町北四カ所八、〇〇〇ヘクタールとなる。これを五万分の一地形図に詳細に書き入れて洪水分布図をつくってみると、挿図の如くなる。これには各部落位置を省いてあるので、大体の見当しかつかないかも知れないが、嘗ての会津の堤防決潰、溢水による水害常習地を、広範囲に、殆ど含んでいるのがわかる。ただ雨量が異常に多かったのに、山科の洪水高水位がはる